



すずき たけお
鈴木 健夫

障がい者ケアと家族負担の軽減について

親なき後の支援体制は

答弁 地域生活支援拠点等の充実で支援を図る

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 中高年ひきこもり世帯における実態把握と家族負担の軽減および課題認識は。

答 家族が支援を求めたときに、保健相談センターや社会福祉協議会の自立相談支援センターが相談窓口を担っているが、より一層の相談員のスキル向上を図る必要があると考えている。

熱中症対策の重要性と対応について

問 クーリングシェルトの拡充と地域ぐるみの暑さ対策や工夫を凝らした周知・啓発活動は。

答 クーリングシェルトのネットワークを整備し、安全に猛暑期を過ごせる環境づくりを進め民生・児童委員の戸別訪問で周知・啓発を行う。

問 支援の隙間にいる低所得の高齢世帯に対するエアコン購入および設置費用の公的支援は。

答 エアコンの利用に係る啓発や見守りとともに、市全体の事業バランスを勘案し研究していく。

麻しん（はしか）感染拡大防止について

問 感染症に対する市民への情報提供と不安軽減および感染発生時の迅速な周知体制は。

答 感染に関する注意喚起と予防接種が有効である旨を市ホームページに掲載。感染状況はリンク先からリアルタイムで入手できる。そして、いざというときのための準備を整え、今後も引き続き、情報収集と市民への周知に努める。



よこお たかふみ
横尾 貴文

緑ある街並みを日高の地域資源と移住定住の魅力として育てる

緑ある街並みは地域資源か

答弁 魅力や地域資源として保全と発信に努める

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 緑ある街並みを、市の魅力や地域資源として捉える考えは。

答 緑や自然は、市の魅力を高めるキーワードであり、貴重な地域資源と捉えている。豊かな自然環境を次世代へ継承するため、緑と清流の保全や魅力発信に努める。

問 市民の地域への愛着やシビックプライドを育む要素として捉える考えは。

答 緑ある街並みは、地域のアイデンティティーを高め、緑化活動を通じたコミュニティの活性化や、地域に関わる当事者意識の創出につながり、シビックプライド醸成の要素になり得る。

問 移住定住促進における暮らしの魅力として発信する考えは。

答 緑豊かな洗練された街の姿は、市のイメージ向上につながる。移住コンシェルジュが支援制度を含め市の魅力を伝え、移住促進に努める。

問 若い世代や子育て世帯に、より具体的に伝える考えは。

答 移住体験ツアーで案内し、日常生活の街並みや景色を感じてもらう。昨年10月の開始以降、計5件のツアー実績がある。市の魅力や移住後の生活情報を直接聞けて参考になったとの声が多く、参加した子育て世帯1世帯が転入している。